

令和3年度

学校評価

(学校アンケート・自己評価・学校関係者評価生徒)



上勝町立 上勝中学校

目次

1 学校アンケート（保護者・生徒）

（1）学校運営について

・・・P 2～P 3

（2）学習・評価について

・・・P 4～P 5

（3）生活指導について

・・・P 6～P 7

（4）生徒活動健康管理について

・・・P 7～P 8

（5）家庭について

・・・P 8

（6）学校生活全般について

・・・P 9

（7）考察

・・・P 9～P 11

2 自己評価

・・・P 12

3 学校関係者評価

・・・P 13

4 アンケート用紙

・・・P 14～P 16

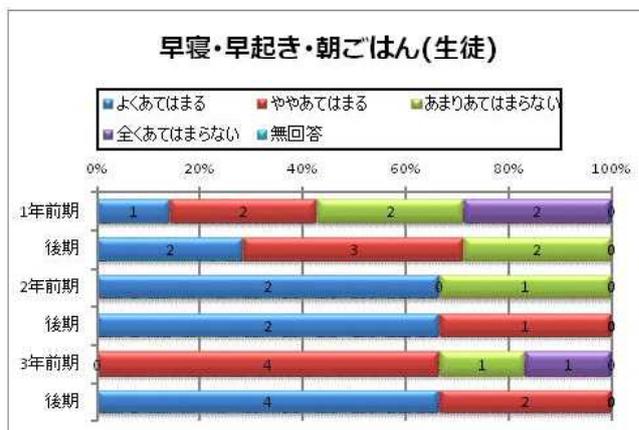
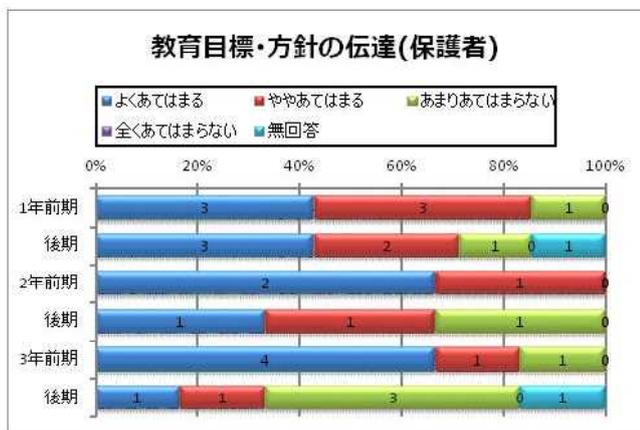
1 学校アンケート

保護者・生徒アンケートから

(1) 学校運営

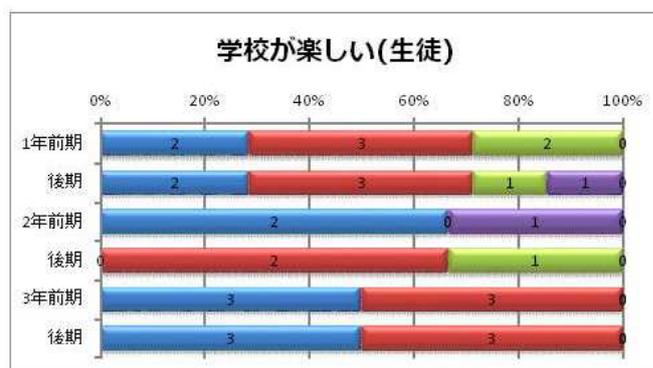
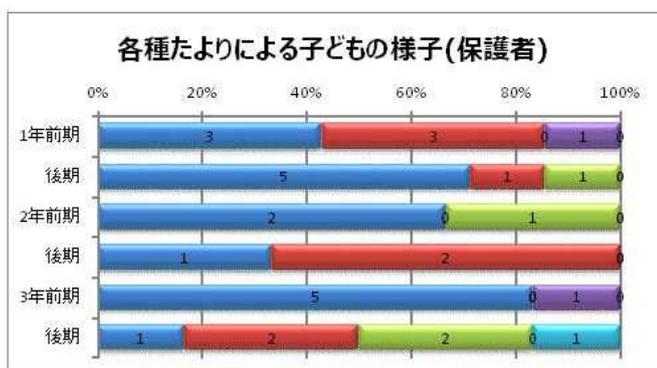
PQ 1 学校は、教育目標・教育方針をわかりやすく伝えている。

SQ 1 あなたは、早寝・早起き・朝ごはんを意識した生活を送っている。



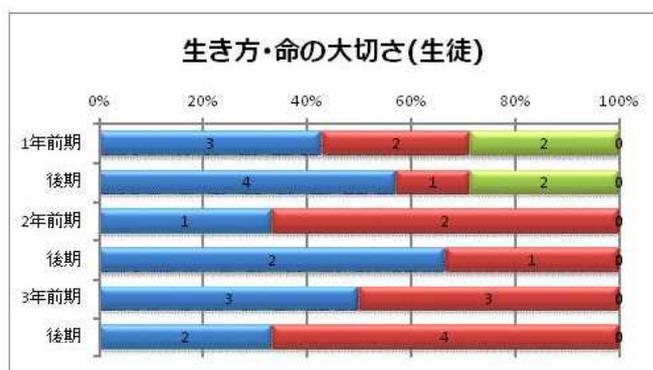
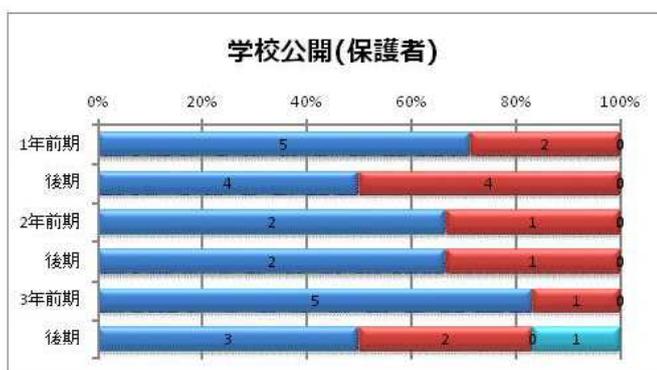
PQ 2 「上中タイムズ」や学年通信、各種たよりで学校での子どもの様子を知ることができる。

SQ 2 あなたは、毎日、学校が楽しいと感じている。

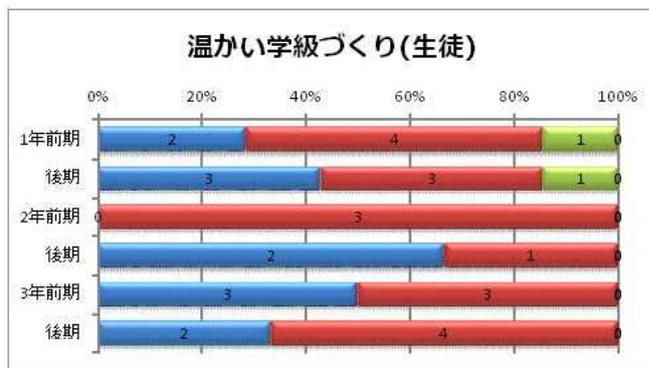
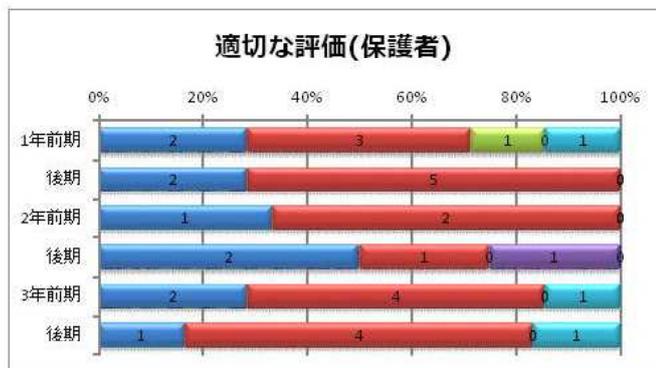


PQ 3 学校は、授業や行事等を参観する機会を適切に設けている。

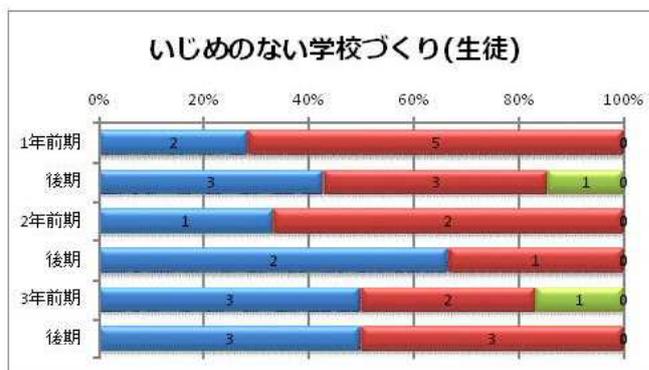
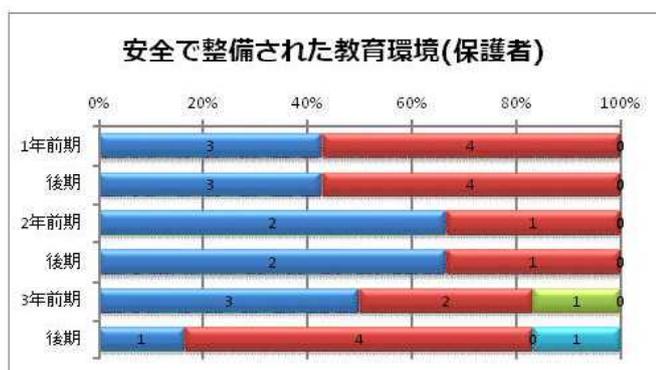
SQ 3 あなたは、道徳や学活の時間に、生き方や命の大切さについて考えている。



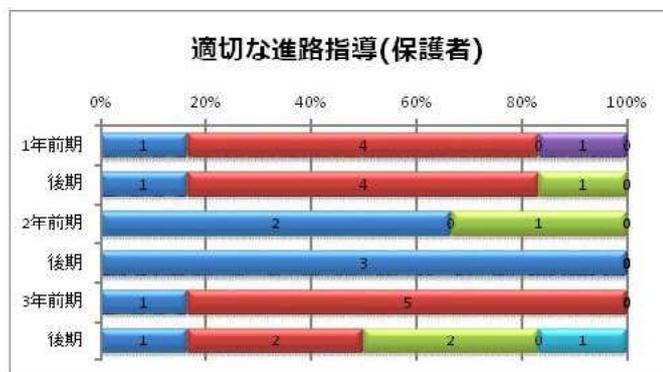
PQ 4 学校は,子どもの良いところや努力を適切に評価している。 SQ 4 あなたは,道徳や学活の時間に,温かい学級づくりに取り組んでいる。



PQ 5 学校は,施設・設備の整備に努め,安全で整った教育環境をつくっている。 SQ 5 あなたは,いじめのない学校づくりに取り組んでいる。

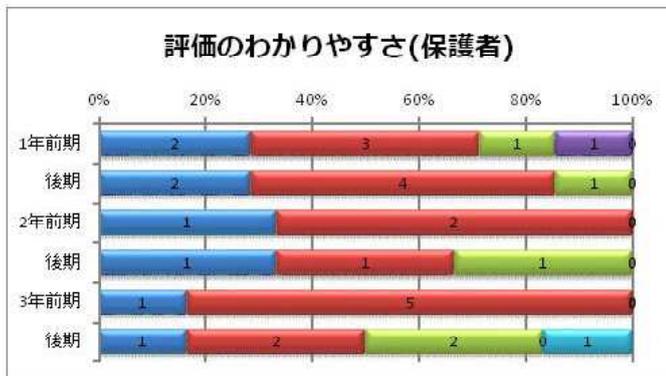


PQ 6 学校は,職業や進路についての適切な指導や情報提供を行っている。

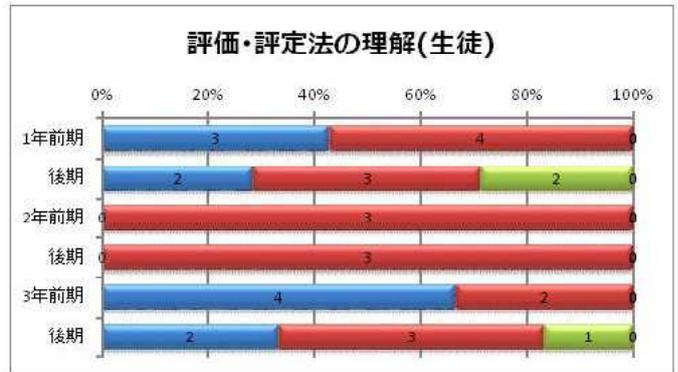


(2) 学習・評価

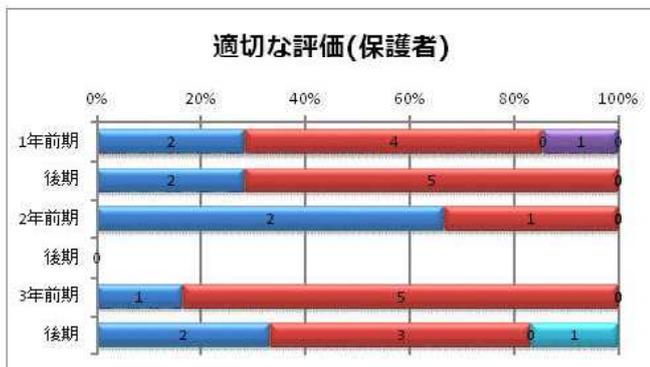
PQ 7 学校は、生徒の学習の評価について、子ども保護者にわかりやすく示している。



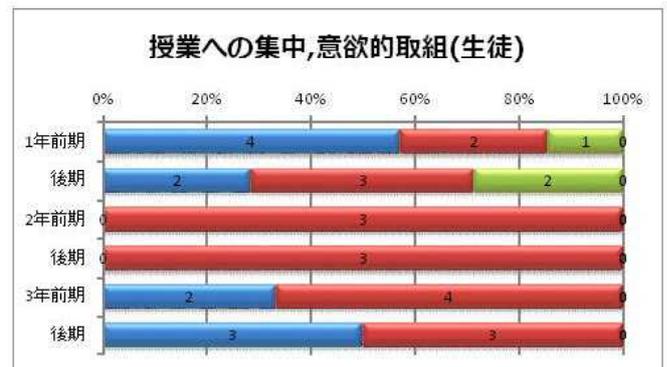
SQ 6 あなたは、学習の評価・評定の仕方について理解している。



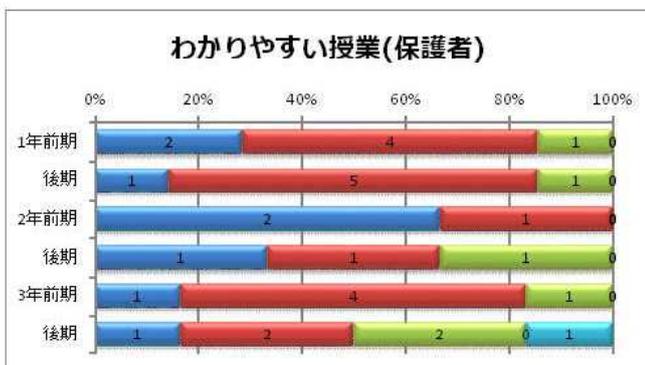
PQ 8 学校は、子どもの学力や学習の様子を適切に評価している。



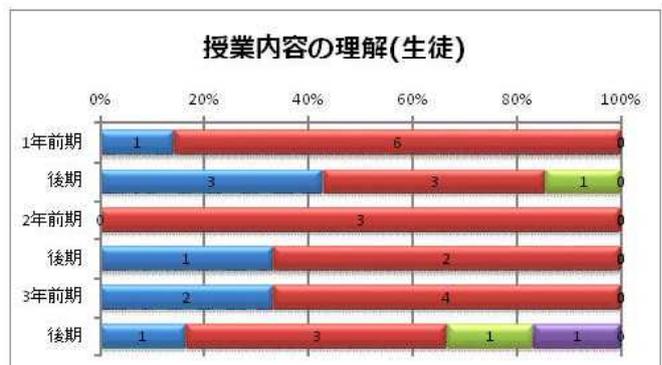
SQ 7 あなたは、授業に集中し、意欲的に取り組んでいる。



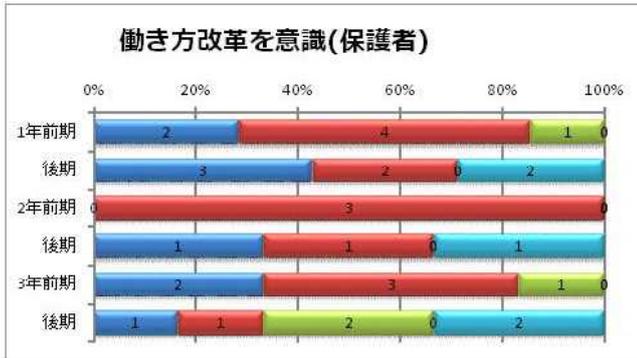
PQ 9 学校は、指導方法や教材等を工夫して、わかりやすい授業づくりに努めている。



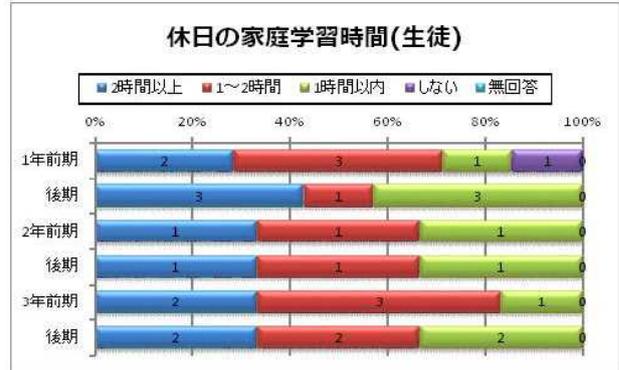
SQ 8 あなたは、学校の授業内容が理解できている。



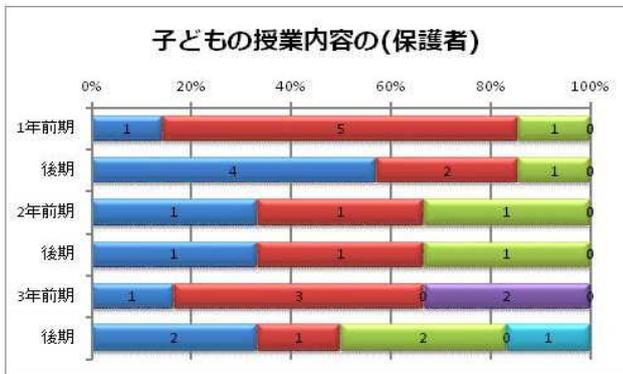
PQ10 学校は、働き方改革を意識した運営をしている。



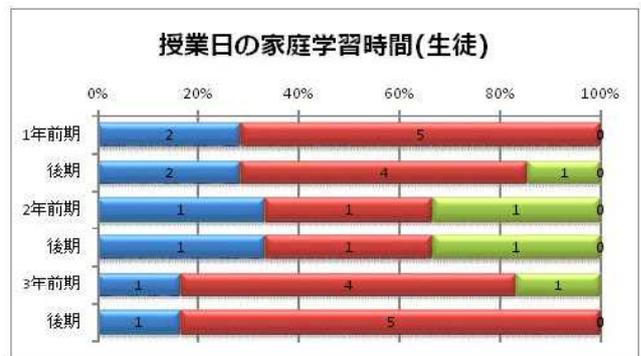
SQ 9 あなたは、休日に、家庭学習を1日平均でどの程度しているか？



PQ11 子どもは、学校の授業内容を理解している。



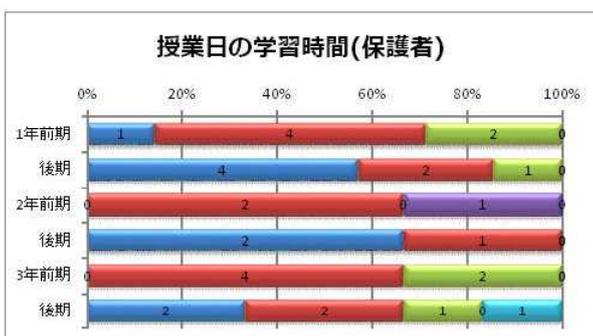
SQ10 あなたは、授業日に、家庭学習を1日平均でどの程度しているか？



PQ12 子どもは、休日に、家庭学習を1日平均どの程度していますか？



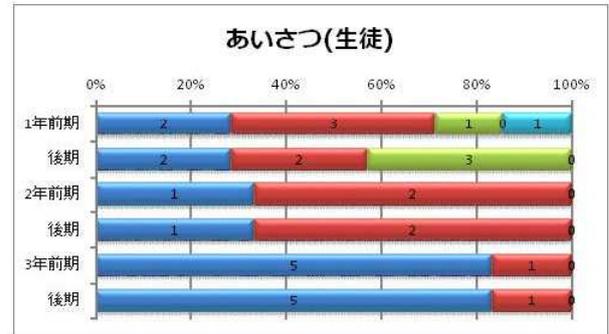
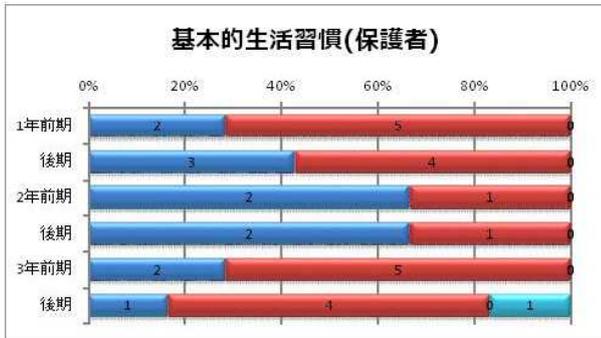
PQ13 子どもは、授業日に、家庭学習を1日平均どの程度していますか？



(3) 生活指導

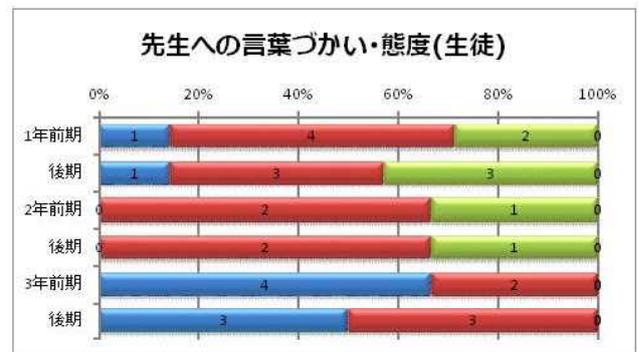
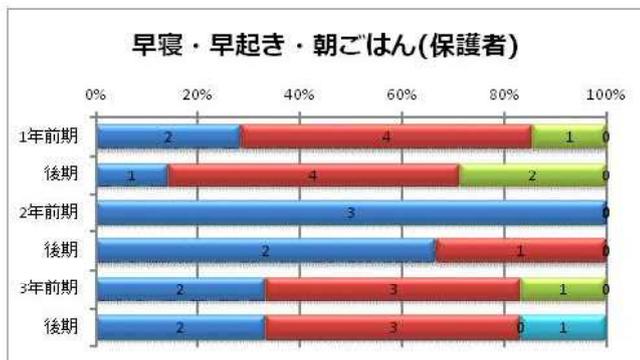
PQ14 子どもは、中学生としての基本的な生活習慣を身につけている。(時間, 服装など)

SQ11 あなたは、進んであいさつを交わしている。



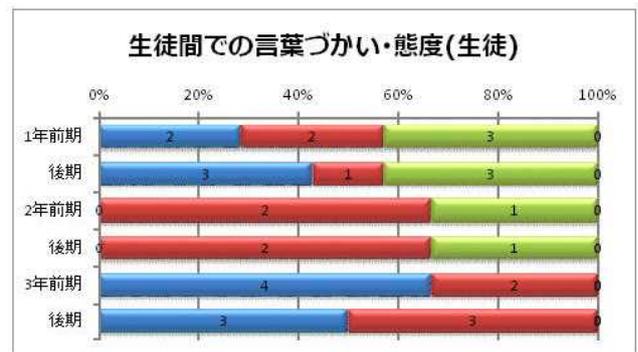
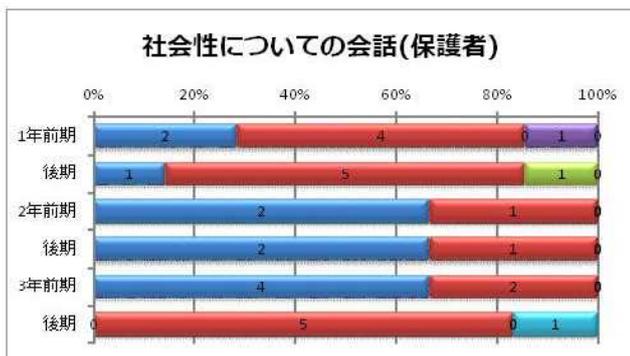
PQ15 子どもは、早寝・早起き・朝ごはんを意識した生活を送っている。

SQ12 あなたは、先生に対して、きちんとした言葉づかいや態度をしている。



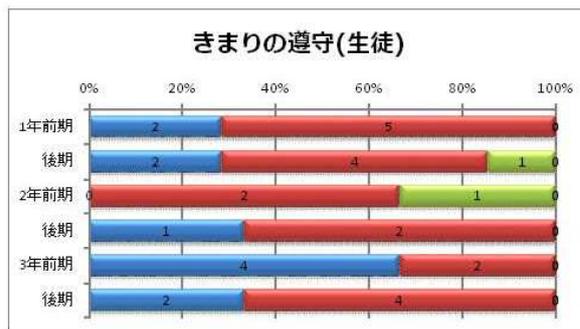
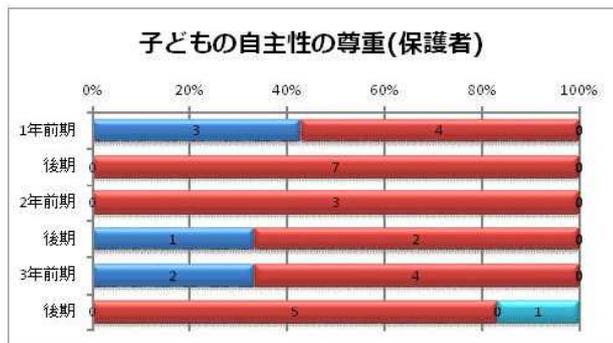
PQ16 家庭では、あいさつやルール、マナー等、社会性についての会話を子どもとしている。

SQ13 あなたは、生徒同士で、相手の気持ちを考えた言葉づかいや態度をしている。



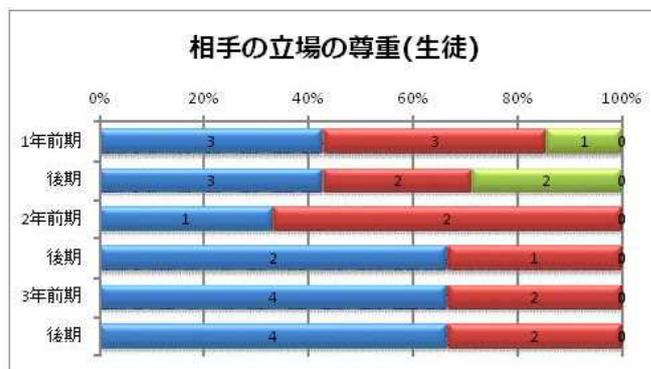
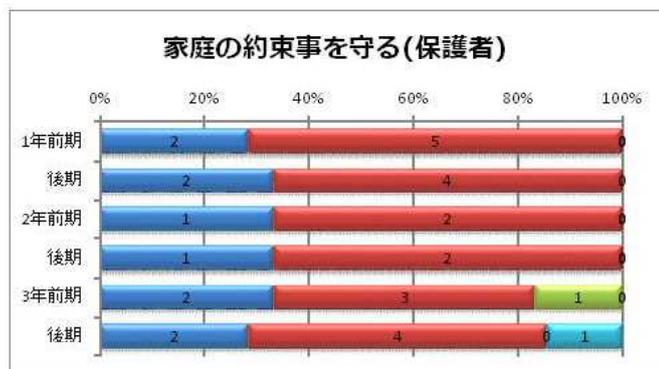
PQ17 家庭では、子どもの自主性を大切にしている

SQ14 あなたは、学校のきまりを守って生活している。

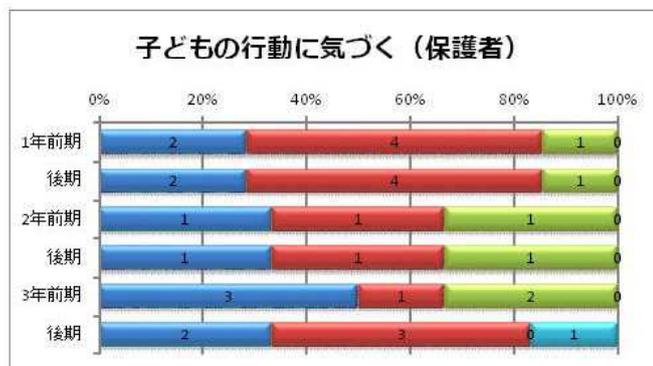


PQ18 子どもは、家庭の約束事を守って生活している。

SQ15 あなたは、いじめや人の嫌がることをしないよう、相手の立場を大切にして生活している。

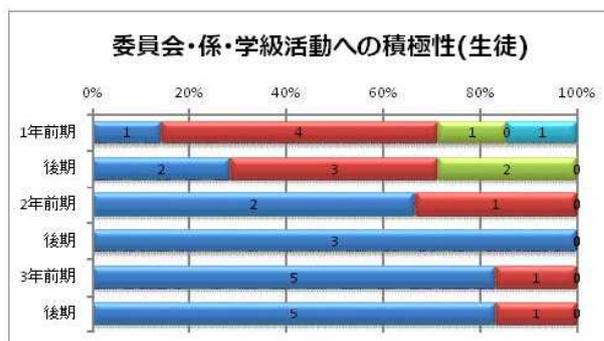


PQ19 家庭では、子どもがいじめや悪い行動に対して、家庭生活を通して気づくことがある。

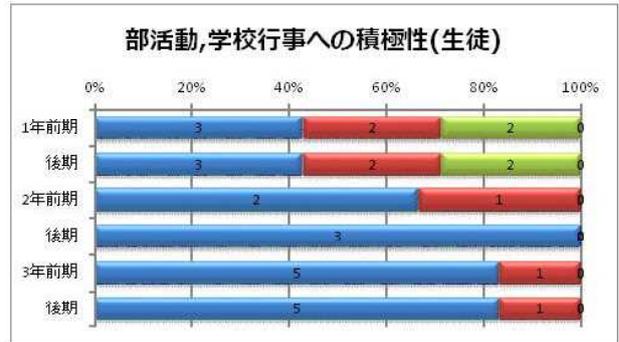


(4) 生徒活動,健康管理

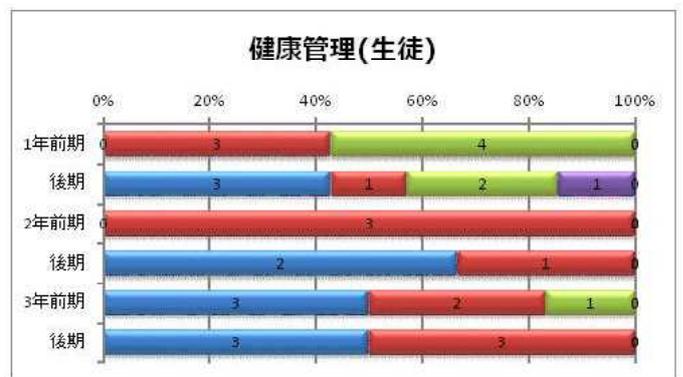
SQ16 あなたは、委員会活動・係活動や学級活動に積極的に参加している。



SQ17 あなたは、部活動や学校行事に積極的に参加している

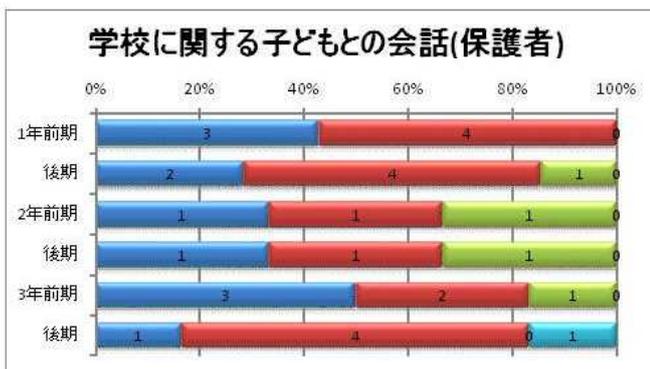


SQ18 あなたは、自分自身の健康管理ができています。

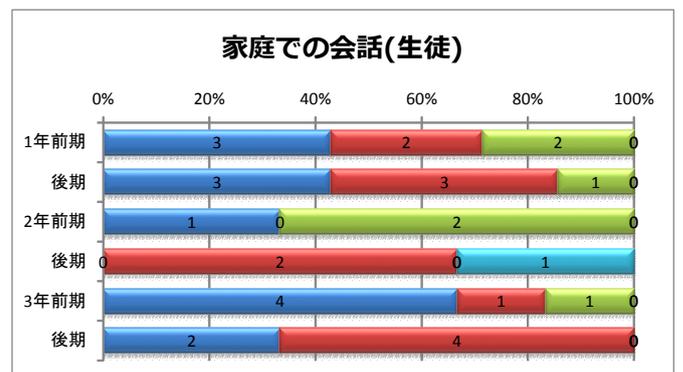


(5) 家庭

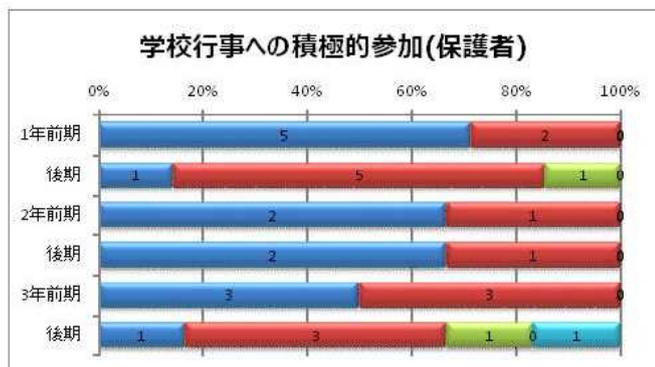
PQ20 家庭で、子どもと学校のことについてよく会話をします。



SQ19 あなたは、学校のことを家で話している。



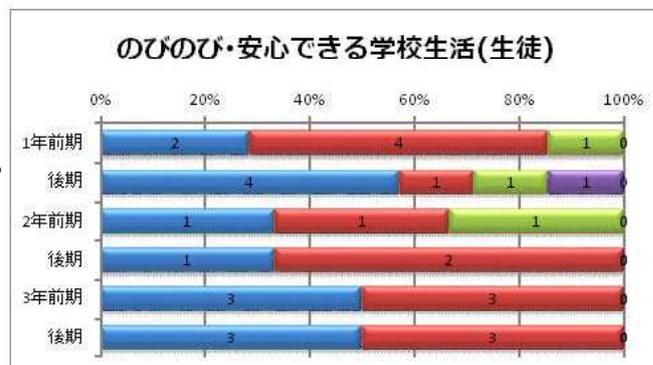
PQ21 授業参観などの各種学校行事に,できるだけ



(6) 学校生活全般家庭

PQ22 子どもは, のびのびと学び, 安心して学校生活を送ることができる。

SQ20 あなたは, のびのびと学び, 安心して学校生活を送ることができる。



考察

1 学校運営について

保護者からは, PQ1 「学校は, 教育目標・教育方針をわかりやすく伝えている。」の『よくあてはまる』と『ややあてはまる』の合計が前期は, 約9割であったが, 後期は7割弱と減少した。PQ2 『「上中タイムズ」や学年通信, 各種たよりで学校での子どもの様子を知ることができる。』, 『よくあてはまる』と『ややあてはまる』の合計が前・後期ともに約8割を超え, PQ3 「学校は, 授業や行事等を参観する機会を適切に設けている。」の合計が100% (後期は無回答1を含む) と高い結果を得た。PQ6 「学

校は、職業や進路についての適切な指導や情報提供を行っている。」についても、『よくあてはまる』と『ややあてはまる』の合計が8割を超えた。この結果からは、大変ありがたいことに保護者の方々の学校教育への深い関心の程がうかがうことができる。

SQ2の「あなたは、毎日、学校が楽しいと感じている。」については、生徒から少し否定的な回答が見られた。普段から生徒たちの声をしっかり受け止め、教職員が連携し、生徒たちが楽しいと感じる魅力ある学校づくりを進めていきたい。また、そのことを保護者や地域に発信していくことも忘れてはならない。

SQ4「あなたは、道徳や学活の時間に、温かい学級づくりに取り組んでいる。」とSQ5「あなたは、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。」については、ともに高い割合で肯定的な回答を得た。今後も、人権教育の充実を図ると共に地域と協働する行事等の中で生徒の自尊感情を高め、「自己的人権を守り、他者の人権を守るとする意識・意欲・態度」の育成をめざして、人権教育を推進したい。

PQ10の「学校は、働き方改革を意識した運営をしている。」保護者の肯定的な回答が8割を超えていたが、後期は6割であった。強であった。

学校運営に関するアンケート結果の結果から、学校運営に関する情報を保護者や地域発信していく必要があると感じた。

2 学習・評価について

生徒の評価については、SQ7「あなたは、授業に集中し、意欲的に取り組んでいる。」については、前・後期とも高い割合で肯定的な回答（前・後期とも）の結果であった。日頃の授業での様子をあわせると、生徒は、概ね授業に意欲的に取り組んでいるようである。

授業内容の理解については、SQ8「あなたは、学校の授業内容が理解できている。」のアンケート結果は、前期は、10割の生徒が肯定的に答えているが、後期は約8割の回答にとどまった。PQ10「子どもは、学校の授業内容を理解している。」のアンケート結果は、保護者の肯定的な回答が前期が、約8割強であったが、後期は約7割と減少した。PQ9「学校は、指導方法や教材等を工夫して、わかりやすい授業づくりに努めている。」については、約8割強が肯定的な回答である。学習指導は、一朝一夕で成果が上がるものではないが、生徒たちが「わかった」「できるようになった」といえる授業を実践できるように、少人数であることの利点を生かしたきめの細かい指導の在り方について、今後もさらに研究を進めていく必要があると感じた。

SQ9「あなたは、休日に、家庭学習を1日平均でどの程度しているか？」の結果は、学習時間が1時間以上という回答の割合が前期が、約7割弱であり、後期は約6割強であった。SQ10「あなたは、授業日に、家庭学習を1日平均でどの程度しているか？」の結果は、学習時間が1時間以上という回答の割合が前・後期ともに約8割であった。中学生の学習内容から考えると現状としては、特に休日の家庭学習の時間が十分であるとは言えない。家庭学習の進め方の指導、有効な学習課題の設け方が必要と考えている。

3 生活指導について

生徒のSQ11「あなたは、進んであいさつを交わしている。」については、肯定的な回答が約8割強という結果でした。結果の通り、来校者や地域の方々に対してほとんどの生徒が礼節を重んじ、あいさつや

会釈が行っている。また、学校の中で「ありがとう」「ありがとうございました。」という生徒の言葉が良く聞かれ、温かい人間関係の中で学校生活をおくっている。今後も地域や保護者の方々の力を協力をいただいて、自分も含め、友達等の人権も大切にできる生徒を育てていきたいと考えている。

生徒のSQ14「あなたは、学校のきまりを守って生活している。」についても、肯定的な回答が前・後期とも9割以上ととても高い結果でした。生徒たちの、きまりを守るなどの規範意識や自分の役割などへの責任意識は、ここでの結果や日頃の生徒の実態とも考え併せると概ね順調に育っている。生徒が、きまりを守ることを意識して生活していることがよく分かる結果である。

4 生徒活動,健康管理について

生徒のSQ16「あなたは、委員会活動・係活動や学級活動に積極的に参加している。」と生徒のSQ17「あなたは、部活動や学校行事に積極的に参加している。」については、集団への適応性についての設問である。集団の中へ積極的に参加する、また、関わっていく事への楽しさを感じるためには、その受け皿となる学級集団がどのように育っているかが問われます。その中で、生徒の前・後期ともに約8割強が肯定的な回答をしていた。今後も、すべての生徒が仲間と一緒に活動できることの良さを感じられるような教育活動を進めていきたいと考えている。

5 家庭について

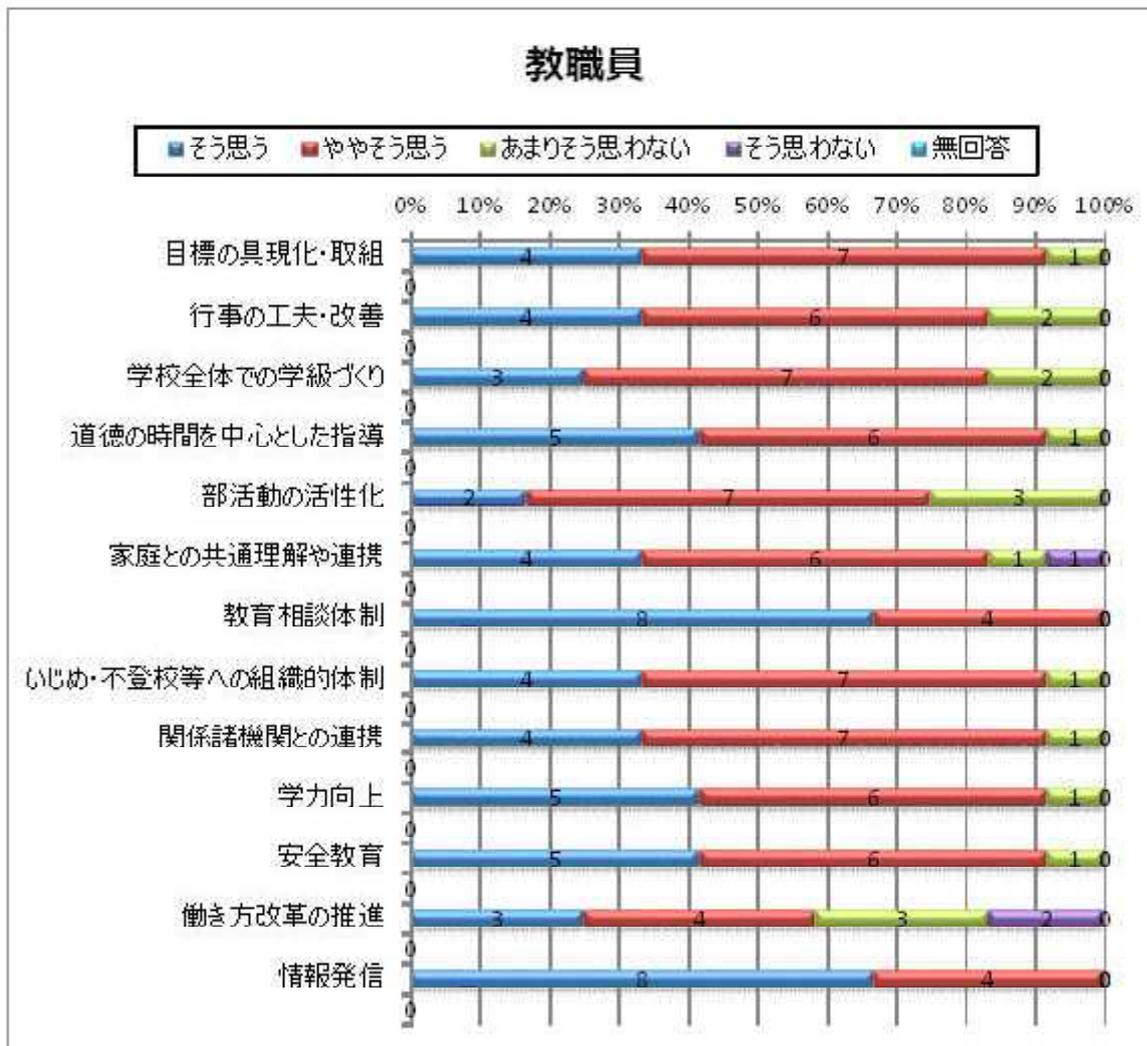
PQ20「家庭で、子どもと学校のことについてよく会話する。」とSQ19「あなたは、学校のことを家で話している。」については、ご家庭での子どもの様子についての設問である。

PQ20については、肯定的な回答が前・後期とも8割以上であった。SQ19について肯定的な回答が前期は7割を下回ったが、後期は約9割と増加した。この結果から、保護者と子どもの捉え方に若干、差がある。思春期の中学生にとって、ご家庭でのコミュニケーションは大変重要である。今後、HPや学級通信等を通して情報発信を充実し、学校での様子について、話しをしていただけるように努めたい。

6 学校生活全般について

生徒のSQ20「あなたは、のびのびと学び、安心して学校生活を送ることができている。」については、楽しい学校生活を送っているかどうかについての設問である。結果は肯定的な回答が、前・後期ともに約8割であった。今後も、温かな雰囲気の中で、生徒たちが「安心して学校生活を送ることができている。」と感ずることができる、人権尊重を基盤とした学校をつくっていけるように継続して努力していきたい。

2 自己評価



保護者・生徒に比べて、教職員の回答は肯定が多く、若干、認識の差を感じる。自分たちの立場で改善できるところがあればしていきたい。

「目標の具現化・取組」も評価としては高いが、目標の提示や見直し等、工夫のできるところがまだあったように思われた

「働き方改革の推進」については、厳しい評価の割合が多かった。働き方改革を推進しているが、業務の改善等に向けて、さらに見直し、工夫等に取り組みたい。

教職員の回答は往々にして好評価であるが、厳しい意見に真摯に耳を傾け、来年度に繋げたい。

学校に対して協力的な保護者が多く、その期待に応えられるよう、生徒の能力や可能性を十分に引き出していかなければならないと再確認させられた。

3 学校関係者評価

(1) 上勝中学校の「豊かな体験活動・交流学習」について

- ・県下でも数少ない『薪ストーブ』の利用を通して環境教育に取り組んでいることは、とても有意義である。今後も継続してほしい。
- ・『上勝町検定』は、他の郡市では、ほとんどやっていないことであると思う。ふるさとの良さを再認識するとともに、郷土愛を育てることにもつながっている。
- ・大杉さんとの講話学習は、とても貴重な体験になったのではと思います。
- ・森林学習はずっと続けていってほしい。
- ・子どもたちに寄りそった上勝ならではの教育活動をされていると思います。

(2) 上勝中学校の「令和3年度 学校アンケート」と「令和3年度 自己評価」について

- ・生徒数や保護者数（調査数）が とても少なくなっている中で、アンケート結果をグラフ化してもあまり意味がないように感じる。（特に2年生）
- ・どの項目も肯定的に受け止められ、学校への信頼を高めていると感じる。今後も家庭との連携を重視した学校運営を重視してほしい。
- ・少人数の利点である、子どもたちひとりひとりの顔や心さらには保護者や地域まで教職員が共有できていると思います。

(3) その他

- ・小規模校の利点を生かして、個別指導が十分に行われていると思う。生徒数確保のためにも「上勝中学校の魅力」を町内外にもっと発信できればいいのではないだろうか。
- ・以前の会の時、教育長さんより、クラブ活動は勝浦中学校と合流しているとお聞きしましたが、交通の手段は、スクールバスを利用されているのか等、気にかかっていました。先生方や保護者の方の負担を軽減されるようにスクールバス以外にも福祉バスの利用なども教育委員会と相談されても良いと思います。（クリアーされているのでしたら問題ないと思います。）